

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数		対象学年・組					
国語	現代の国語	(2 単位)	1A、1B					
教科担当者：(A組：今田、三好) (B組：今田、三好) (C組：)								
使用教科書：		1 8 3 第一・現国 7 1 6 新編現代の国語	使用教材等：	教科書・プリント・ICT機器				
学習目標：論理的な思考力と判断力、表現力を身につける。国語で的確に表現する能力を身につけ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
常用漢字を活用する。語彙を豊かにする。話し言葉と書き言葉の特徴、主張と論拠、個別と一般化などの関係を理解する。		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。情報を相互に関連づけながら解釈し、根拠を示して論述する。		他者の文章、発言を正確に理解できるよう努める。自分の考えが的確に伝わるように工夫する。調べたことを整理してまとめる。				
	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	文章を朗読する。言葉の用法を理解する。文章構成について考える。要旨をまとめることができる。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		「『未知』はいくらでもある」(宮内悠介)通読・語彙		○		○		
		同上 段落ごとの読解			○			
	5月	同上 論理展開の分析、要旨まとめ			○		8	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休	自分の意見や考えをまとめる。	○	○	○		
		自分の意見や考えの論述	(中間考査 5/14-19)			○		
		中間考査	文章を朗読する。	○	○			
	6月	「言語としてのピクトグラム」(本田弘之)通読			○		○	8
		同上 段落ごとの読解・語彙	文章を朗読する。文章構成について考え、要旨をまとめる。身の回りのピクトグラムについて考察する。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。	○	○			
		同上 論理展開の分析、要旨まとめ			○			
		同上 身の回りのピクトグラムの発見				○		
	7月	自分の意見や考えの論述			○	○		6
		期末考査	(期末考査 7/1-7)	○	○			
		答案返却	返された答案を見直し、学習を振り返り、今後の学習に活かす。			○		
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
8月	(夏季休業中)							
	(夏期休業中)							
2 学 期	9月	「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光)	文章を朗読する。詩人独特の表現に注目しながら筆者の問題意識をよみとる。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。				8	
		同上 通読、段落ごとの語彙・読解		○	○	○		
		同上 エッセイの特徴について考える			○			
		同上 他者との関わりについて考え、まとめる			○	○		
	10月	同上 自分の場合について考え、まとめる				○	8	
		同上 修辭法について	比喩表現の拡がりを感じとる。	○				
		同上 常用漢詩の読み書き	常用漢字の読み書きの練習。	○				
		中間考査	(中間考査 10/14-17)	○	○			
	11月	答案返却	返された答案を見直し、学習を振り返り、今後の学習に活かす。			○	8	
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
		(農高祭)	法律文・新聞記事を読み比べる。	○				
		「法律の改正に関わる文章を読み比べる」		○	○			
	12月	同上 さまざまな資料を読む・法律の語彙	農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)		○		6	
		同上 必要な情報を読み取る	自分の経験から題材を探す。		○	○		
		同上 社会問題との関連について考える				○		
		同上 社会に対する意見文を書く	意見文の書き方を理解する。	○	○			
12月	期末考査	授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。	○	○		6		
	答案返却、行事	(期末考査)			○			
	H R 指導、学校行事、終業式							
	(冬季休業中)	答案を見直し、今後に活かす。						
3 学 期	1月	(冬季休業中)	文章を朗読する。語彙を豊かにする。筆者の問題意識を論理的に読む。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。	○			8	
		「『弱いロボット』の誕生」(岡田美智男)朗読		○				
		同上 語彙を豊かにする		○				
		同上 論理の展開を的確に捉える		○				
	2月	同上 段落ごとの要旨を整理する				○	8	
		同上 「弱いロボット」の開発意図を考える	筆者の意図を読み取る。		○	○		
		「地域の魅力を紹介する」情報発信の方法	(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○		
		同上 必要な情報を収集する	地域の情報を集める方法を学ぶ。	○	○	○		
	3月	同上 わかりやすい紹介文を書く	わかりやすく伝える技術を学ぶ。課題の提出。	○	○	○	4	
		学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	○	○			
		答案返却、卒業式予行・卒業式	答案を見直し、今後に活かす。			○		
		H R 指導、学年集会、行事						
	3月	(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)						
	履修上の注意					予定時数計		78
	特記事項等							

令和7年度年間指導計画【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
公民		公共 (2 単位)						
教科担当者：		(A組：吉田) (B組：田中)		(取り出し：重松)				
使用教科書：		実教出版 公共		使用教材等： 自作プリント・視覚教材				
学習目標：		現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者、主権者としての必要な資質を養う。						
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解している。また、諸資料から様々な情報を適切効果的に調べまとめている。		現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的に考察したり解決に向けて合意形成や社会参画を視野に入れながら公正に判断している。		社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		オリエンテーション	世界の国々	○	○	○		
		オリエンテーション	西暦と世紀	○	○	○		
	5月	オリエンテーション		○	○	○	8	
		社会を作る私たち	青年期とは	○	○	○		
		社会を作る私たち	職業生活と社会参加	○	○	○		
		中間考査	中間考査	○	○			
	6月	人間としてよりよく生きる	正しさとは何か	○	○	○	8	
		人間としてよりよく生きる		○	○	○		
		人間としてよりよく生きる	ベンサム功利主義	○	○	○		
		人間としてよりよく生きる	カントの義務論	○	○	○		
	7月	人間としてよりよく生きる		○	○	○	6	
		期末考査		○	○			
		答案返却						
		(セーフティ教室・学年集会・終業式)	期末考査					
	2 学 期	8月	(夏季休業中)					8
(夏季休業中)								
始業式、防災講話、グループエンカウンター								
民主国家における基本原理			政治のはたらき	○	○	○		
9月		民主国家における基本原理	民主政治の基本原理	○	○	○	8	
		民主国家における基本原理		○	○	○		
		民主国家における基本原理		○	○	○		
		民主国家における基本原理		○	○	○		
10月		民主国家における基本原理	民主政治のしくみと課題	○	○	○	8	
		民主国家における基本原理	世界の政治制度	○	○	○		
		中間考査	中間考査	○	○			
		日本国憲法の基本的性格	明治憲法下の政治	○	○	○		
11月		(セーフティ教室・農高祭準備)					8	
		(農高祭)						
		日本国憲法の基本的性格	農高祭・振休・ボランティアの日	○	○	○		
		日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立	○	○	○		
12月		日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の基本的性格	○	○	○	6	
		日本国憲法の基本的性格		○	○	○		
	期末考査		○	○				
	答案返却、行事	(期末考査 12/8-12)						
3 学 期	1月	H R 指導、学校行事、終業式					8	
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
		自由生きる権利	自由権の保障	○	○	○		
	2月	自由生きる権利	精神の自由	○	○	○	8	
		自由生きる権利	人身の自由	○	○	○		
		自由生きる権利		○	○	○		
		自由生きる権利		○	○	○		
	3月	自由生きる権利	人身の自由	○	○	○	4	
		自由生きる権利		○	○	○		
		自由生きる権利	(自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○		
	3月	学年末考査		○	○		4	
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		HR指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)					
		(行事・特別指導)、修了式、						
	履修上の注意	3月	(春季休業中)					78
(春季休業中)								
履修上の注意				予定時数計			78	
特記事項等								

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
数学		数学Ⅰ	(2 単位)	1学年					
教科担当者：(A組：白井 土屋) (B組：白井 土屋) (C組：)									
使用教科書：		高校数学Ⅰ (実教出版)		使用教材等：	ステップノート 数学Ⅰ				
学習目標 基礎的・基本的な計算力を身につけ、自ら積極的に課題解決をしようとする態度を養う。									
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
数学Ⅰにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)		・数の計算、分数の計算ができる。 ・多項式の同類項をまとめ、次数の大きい順に整理することができる。 ・多項式の加法、減法の計算ができる。					6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)							
		ガイダンス					○		
		計算の基本 文字を使った式のきまり			○		○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)					8
		整式の加減			○		○		
		中間考査			○	○	○		
		整式の乗法 乗法公式の展開 1			○		○		
	6月	乗法公式の展開 2 乗法公式の展開 3							8
		因数分解 1			○	○	○		
		因数分解 2			○	○	○		
		因数分解 3			○	○	○		
	7月	期末考査 答案返却 (セーフティ教室、学年集会、終業式)		(期末考査 7/1-7)					6
		(夏季休業中)			○	○	○		
		(夏期休業中)							
8月									
2 学 期	9月	平方根		・根号を含む式の加法、減法、乗法が計算できる。また、分母の有理化ができる。 ・有理数、無理数の定義や実数の分類について理解している。 ・不等式の性質を理解している。	○		○	8	
		平方根とその計算			○	○	○		
		実数			○		○		
		1次方程式 不等式			○		○		
	10月	不等式の性質 1 不等式の性質 2		・不等式における解の意味を理解しており、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式を、数直線を用いて解くことができる。 (中間考査 10/14-17)	○	○	○	8	
		中間考査			○	○	○		
		1次不等式 1 (セーフティ教室・農高祭準備)			○		○		
		(農高祭)			○	○	○		
	11月	1次不等式 2 1次不等式 3 連立不等式		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)				8	
		不等式の利用 1			○	○	○		
		不等式の利用 2			○	○	○		
		期末考査			○	○	○		
	12月	答案返却、行事 HR指導、学校行事、終業式 (冬季休業中)		(期末考査 12/8-12)				6	
					○	○	○		
3 学 期	1月	(冬季休業中)						8	
		集合と要素 1			○		○		
		集合と要素 2			○		○		
		集合と要素 3 命題 1			○	○	○		
	2月	命題 2 いろいろな証明方法 1 いろいろな証明方法 2 いろいろな証明方法 3		(自宅学習・入選・採点2/20-25)				8	
					○	○	○		
					○	○	○		
	3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式 HR指導、学年集会、行事 (行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)		(学年末考査 3/2-6)				4	
					○	○	○		
					○	○	○		
					○	○	○		
履修上の注意						予定時数計		78	
特記事項等									

教科	科目名・単位数	対象学年・組					
理科	科学と人間生活 (2 単位)	1年A組・B組					
教科担当: A組: 永井 (B組: 永井) (C組:)							
使用教科書:	2 東書・科人701 科学と人間生活	使用教材等: 教科書・プリント・映像教材・デジタルコンテンツ					
学習目標:	中・高理科第一・第二分野の内容を基礎として、『科学と人間生活』のうちの、微生物とそれの利用、遺伝とDNA、物質の構成と変化、金属・プラスチックの性質とそれの利用、光と電磁波、天体・固体地球科学では地球の自然環境と地殻変動、防災等についても指導する。諸学の発展・使い分けを正確に理解し用いることができることを目標とする。						
観点別の評価基準							
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】					
生物化学分野では基礎的な元素記号や化学式、光合成や呼吸の化学反応式、固体地球科学では地球の自然環境と地殻変動、防災等についても指導する。諸学の発展・使い分けを正確に理解し用いることができることを目標とする。	図やグラフの読み取りや活用を重視し、計算のある問い等では式を立てて示せる力を養う。また、重要事項については要点について過不足なく正しく説明することができることを目標とする。	授業中の参加や姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況、実験や観察、実習等へ参加する姿勢と主体的な取り組みおよびレポート等を総合的に評価する。					
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学期	4月	(春季休業中)					6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		ガイダンス、科学と人間生活で学ぶもの	細胞の構造では微生物とその利用も参照し、指導する。細胞の構造については特に重点的に指導する。ウイルスにも触れる。				
		1編 生命の科学、1章 微生物とその利用、様々な微生物身のまわりの微生物、微生物の生物分類、細胞の構造		○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	植物の窒素同化や光合成を中心に、生物界を巡るエネルギーの流れが太陽光の利用から始まっていることを理解させる。微生物の利用については食品での利用を必ず扱う。			○	8
		窒素同化と微生物、水中の微生物、中間調査			○	○	
		微生物の発見の歴史、生態系での微生物のはたらき		○	○	○	
		食品と微生物、発酵、中間調査のまとめ		○	○	○	
	6月	医薬品と微生物	生命現象が外部刺激を生存に活用していることを理解させる。金属の精製で酸化・還元についても触れる。資源のリサイクルについても触れる。		○	○	8
		2章 ヒトの生命現象、遺伝・代謝・恒常性、体に必要な栄養素		○	○	○	
		遺伝の仕組み、細胞分裂、遺伝子の働きとDNA、タンパク質の合成			○	○	
		2編 物質の化学 1章 材料とその利用 資源の再利用と3R		○	○	○	
7月	金属の性質、身近な金属とその利用			○	○	6	
	期末考查						
	答案返却、解答解説、必要に応じて追指導	高分子化合物の構造と重合反応の仕組み、リサイクルの方法について理解させる。	○	○	○		
	2章 プラスチックの性質とその再利用						
2 学期	8月	(夏季休業中)					8
		(夏期休業中)					
	9月	金属の精錬と酸化還元反応、金属の再生利用	単元に出てくる主な元素記号等は周期表とともに覚えるよう指導する。		○	○	8
		プラスチックの製造、重合反応、プラスチックの再生		○	○	○	
		食品の科学、脂質、炭水化物、タンパク質		○	○	○	
		3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用、電磁波の種類		○	○	○	
	10月	光の進み方と見え方、光の波動性、反射・屈折・回折	電磁波の利用では、リモコンや電子レンジ、通信や放送用電波の区分など生活に即した事例を取り上げる。		○	○	8
		光のスペクトル、光の三原色と色、視覚と目の構造		○	○	○	
		目に見えない光とその利用、中間調査のまとめ		○	○	○	
		中間調査		○	○	○	
11月	2章 熱の性質とその利用、原子と分子の熱運動、熱の伝わり方			○	○	8	
	ゼルンウス温度と絶対温度、(農高祭)						
	比熱、熱とエネルギー	絶対温度では、熱が原子・分子の熱振動であることを理解させ、絶対零度が熱振動0を意味することを理解させる。恒星と他の天体の違いを明示。彗星や小惑星等の構成要素も取り上げる。	○	○	○		
	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 太陽と月が作る暦		○	○	○		
12月	海水面の変動、潮の満ち引きと月、太陽の放射エネルギー			○	○	6	
	地球の熱収支と大気、海洋の循環、気象			○	○		
	2章 自然環境と自然災害、太陽のエネルギーが作る環境、期末調査のまとめ			○	○		
	期末考查						
3 学期	1月	答案返却、行事	太陽放射が地球の気候や植生を決定していることを示す。			○	8
		H R指導、学校行事、終業式					
		(冬季休業中)					
		(冬期休業中)					
	2月	移り変わる地球の景観、山地や低地のでき方	地震では、地球の層構造やプレート運動にも触れる。		○	○	8
		プレートテクトニクスと大陸の移動、プレート境界		○	○	○	
		火山が作る景観、火山の分類と火成岩の分類		○	○	○	
		自然災害と防災、地震による災害		○	○	○	
	3月	火山による災害			○	○	8
		気象災害・土砂災害	自然災害のメカニズムについて理解し、防災・減災のためにどのような考え方をすれば良いか指導する。		○	○	
		自然災害と人間はどう付き合いか		○	○	○	
		学年末調査のまとめ			○	○	
3月	学年末調査					4	
	答案返却、卒業式予行・卒業式				○		
	HR指導、学年集会、行事	必要に応じて補充指導や課題を実施する。					
	(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)						
履修上の注意	食化・普通科共通必修履修					予定時数計	78
特記事項等							

78

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
保健体育		保健 (1 単位)		1学年A組・B組				
教科担当者： (A組： 広島) (B組： 広島) (C組：)								
使用教科書： 現代高等保健体育			使用教材等： 現代高等保健体育ノート					
学習目標： 保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					3	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)	・授業の進め方について理解する			○		
		オリエンテーション	・健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解する。		○			
		健康の考え方と成り立ち	・わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解する。	○				
	5月	私たちの健康のすがた		○		○	4	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)	○				
		私たちの健康のすがた	・わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解する。	○	○			
		中間考査	・生活習慣病について呼称の由来や病例を説明できるようにする。	○				
	6月	生活習慣病の予防と回復		○	○		4	
		生活習慣病の予防と回復		○				
		運動と健康	・食生活の重要性と意義、運動の意義、食生活・運動習慣の形成について理解する。	○				
		運動と健康		○				
	7月	食事と健康	・休養・睡眠の意義、よりよい休養・睡眠のとり方について理解する。		○		3	
		休養・睡眠と健康		○				
		休養・睡眠と健康				○		
		休養・睡眠と健康				○		
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)				3	
		答案返却		○				
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)		○				
		(夏季休業中)						
	8月	(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
2 学 期	9月	喫煙と健康	・喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存症、日本や世界におけるたばこ対策について理解する。	○			4	
		喫煙と健康	・飲酒による健康への短期的および長期的影響について理解する。	○				
		飲酒と健康	・薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響について理解する。		○			
		薬物乱用と健康			○			
	10月	精神疾患の特徴	(中間考査 10/14-17)・うつ病などの精神疾患の要因と種類、課題を理解する。			○	4	
		精神疾患の予防		○				
		中間考査				○		
		精神疾患の予防	・精神疾患の予防・早期発見と治療について理解する。			○		
	11月	(セーフティ教室・農高祭準備)					○	4
		(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)・専門家による支援と治療や社会環境の整備について理解する。		○			
		精神疾患の予防	・感染症について新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解する。	○				
		精神疾患からの回復		○				
	12月	精神疾患からの回復		○			3	
		現代の感染症		○				
		現代の感染症		○				
		期末考査	(期末考査 12/8-12)・感染症について新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解する。			○		
3 学 期	1月	答案返却、行事		○	○		4	
		H R 指導、学校行事、終業式		○				
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
	2月	ヘルスプロモーションの考え方について理解する。	・ヘルスプロモーションの考え方について理解する。			○	4	
		性感染症・エイズとその予防	・交通事故の現状とその要因について理解する。		○			
		健康に関する意思決定・環境づくり	・安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について理解する。	○				
		事故の現状と要因		○				
	3月	安全な社会の形成	(自宅学習・入選・採点2/20-25)・応急手当の意義やその手順について理解する。			○	2	
		交通における安全	・けがの応急手当、熱中症の応急手当について理解する。			○		
		心肺蘇生法	・心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解する。			○		
		日常的な応急手当				○		
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	○			2	
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○				
		HR指導、学年集会、行事				○		
		(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)				○		
履修上の注意				・授業への出席状況・授業態度、提出物・小テスト・定期考査を総合的に評価を行う		予定時数計	39	
特記事項等								

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
保健体育		体育 (2 単位)		1年A組・B組				
教科担当: (A組: 高崎・中村) (B組: 高崎・中村) (C組:)								
使用教科書: 現代高等学校保健体育				使用教材等:				
学習目標: 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの問題を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、思いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に励む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	・授業の受け方、係の役割、評価についての説明により安全かつ円滑な授業運営ができるようにすることができる。 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)				○		
		オリエンテーション				○		
		オリエンテーション			○			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ることができる。	○			8	
		陸上競技		○				
		中間考査			○			
		陸上競技		○				
	6月	卓球	・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。	○			8	
		卓球		○		○		
		卓球		○				
		卓球		○				
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)			○	6	
		答案返却		○				
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)		○				
(夏季休業中)								
	(夏期休業中)							
8月								
2 学 期	9月	卓球	・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動く。	○			8	
		卓球		○		○		
		スポーツフェスティバル練習			○			
		スポーツフェスティバル練習			○			
	10月	スポーツフェスティバル練習	(中間考査 10/14-17)・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。		○		8	
		スポーツフェスティバル練習			○			
		中間考査			○			
		スポーツフェスティバル練習			○			
	11月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6))・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。				8	
		長距離走		○				
		長距離走				○		
		長距離走		○				
	12月	長距離走	(期末考査 12/8-12)・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。			○	6	
		期末考査		○				
		答案返却、行事		○	○			
HR指導、学校行事、終業式		○						
	(冬季休業中)							
3 学 期	1月	(冬季休業中)	・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。	○			8	
		長距離走		○				
		長距離走		○	○			
		長距離走		○				
	2月	アルティメット	(自宅学習・入選・採点2/20-25)・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。	○			8	
		アルティメット		○				
		アルティメット			○			
		アルティメット				○		
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	○			4	
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○				
		HR指導、学年集会、行事				○		
		(行事・特別指導)・修了式、				○		
		(春季休業中)						
	履修上の注意						予定時数計	78
	特記事項等							

78

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
外国語		英語コミュニケーションⅠ (3 単位)		1A・1B				
教科担当者:				(A組: 藤本) (B組: 藤本) (C組:)				
使用教科書:				三省堂 VISTA English CommunicationⅠ				
				使用教材等:				
				自作プリント				
学習目標: 中学校学校学習範囲を土台として英語の基礎内容を深める。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。		目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で構想や考えなどの概要や要点、詳細などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したりすることができる力を養う。		授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況等を総合的に評価する。				
月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法		知	思			
				態	予定時数			
1学期	(春季休業中)							
	(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)							
	4月	ガイダンス	基本的な英作文を確認させる。			9		
		英文構造理解	「色」を通じて、日本や世界の文化を考えさせる。					
		Lesson 1 Colors of Spring		○	○		○	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)					
		一般動詞、be動詞	・be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し相手に伝えられるようにする。		○	○	12	
		中間考査			○	○		○
		be動詞、一般動詞の過去形				○		○
		be動詞、一般動詞の過去形				○		○
		Lesson 2 Dick Bruna	・芸術への理解を深める。またブルーナの活動から、社会貢献について考えさせる。		○	○	○	12
		Lesson 2 Dick Bruna			○	○	○	
		一般動詞の過去形	・一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。			○	○	
		一般動詞の過去形				○	○	
		1学期のまとめ、振り返り			○	○	○	9
		期末考査			○	○	○	
	答案返却							
	(セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)						
	(夏季休業中)							
	(夏期休業中)							
8月								
2学期	Lesson 3 Interesting Sports	・芸術への理解を深める。またブルーナの活動から、社会貢献について考えさせる。		○	○	○	12	
	Lesson 3 Interesting Sports			○	○	○		
	Lesson 3 Interesting Sports	・一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。			○	○		
	現在進行形・過去進行形				○	○		
		現在進行形・過去進行形				○	○	12
		現在進行形・過去進行形	(中間考査 10/14-17)		○	○	○	
		テスト対策、振り返り	・ピクトグラムについて知る。それがどのような場面で使用されているか、またその役割について知る。		○	○	○	
		Lesson 4 Pictograms			○	○	○	
		(セーフティ教室・農高祭準備)						12
		(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)					
		Lesson 4 Pictograms	・文法事項「助動詞」についてその種類と用法を知る。動名詞の使用方法を学ぶさせる。			○	○	
		助動詞・動名詞				○	○	
		助動詞・動名詞				○	○	9
		助動詞・動名詞				○	○	
		2学期のまとめ、振り返り				○	○	
		期末考査	(期末考査 12/8-12)		○	○	○	
	答案返却、行事			○	○	○		
	H R 指導、学校行事、終業式							
	(冬季休業中)							
3学期	(冬季休業中)						12	
	Lesson 5 We Are Part of Nature	世界中でも活動を行っている動物写真家の岩合光昭さんの動物と自然の思いを知る。準動詞to Vの3用法の文章を理解させる。		○	○	○		
	Lesson 5 We Are Part of Nature			○	○	○		
	to不定詞				○	○		
		to不定詞				○	○	12
		接続詞				○	○	
		接続詞				○	○	
		to不定詞	(自宅学習・入選・採点2/20-25)			○	○	
		文章解釈				○	○	
								6
		学年末考査			○	○	○	
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		H R 指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)					
		(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)						
	履修上の注意						予定時数計	117
	特記事項等							

教科		科目名・単位数		対象学年・組			
農業		食品製造 (1 単位)		1年A組			
教科担当者:		(A組: 佐藤凛)					
使用教科書:		実教出版「食品製造」		使用教材等:	実習資料		
学習目標: 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を身に付ける。							
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。		食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)					3
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		オリエンテーション				○	
		食品製造とその目的		○			
		食品製造とその目的			○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)				4
		食生活と食品製造			○		
		中間考査		○	○	○	
		食品産業の役割と分類		○			
		日本の食品産業の特色			○		
	6月	日本の食品産業の課題			○		4
		食品製造の基礎(食品の分類法)		○			
		食品製造の基礎(植物性食品・動物性食品)		○			
		食品製造の基礎(加工食品)		○			
		食品製造の基礎(その他の加工食品)					
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)	○	○	○	3
		答案返却					
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)					
(夏季休業中)							
(夏期休業中)							
8月							
2 学 期	9月	身近な食品の科学(栄養素の種類と働き)		○			4
		身近な食品の科学(栄養素の種類と働き)			○		
		身近な食品の科学(食品に関する疑問)		○			
		身近な食品の科学(食品に関する疑問)			○		
		身近な食品の科学(食品に関する疑問)		○			
	10月	身近な食品の科学(食品に関する疑問)	(中間考査 10/14-17)		○		4
		身近な食品の科学(食品に関する疑問)		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
		食品の変質とその原因(生物的要因)		○	○		
		(セーフティ教室・農高祭準備)					
	11月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)				4
		食品の変質とその原因(物理的・化学的要因)		○	○		
		食品の貯蔵法(水分活性と食品保存)			○		
		食品の貯蔵法(乾燥による貯蔵)		○			
		食品の貯蔵法(低温による貯蔵)			○		
	12月	食品の貯蔵法(低温による貯蔵)	(期末考査 12/8-12)		○		3
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事					
HR指導、学校行事、終業式							
(冬季休業中)							
3 学 期	1月	(冬季休業中)					4
		食品の貯蔵法(殺菌による貯蔵)		○			
		食品の貯蔵法(殺菌による貯蔵)			○		
		食品の貯蔵法(食塩・砂糖・酢による貯蔵)		○			
		食品の貯蔵法(空気組成の調節による貯蔵)		○			
	2月	食品の貯蔵法(食品添加物による貯蔵)	(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○		4
		食品衛生とは		○			
		食品衛生行政と法律			○		
		HACCPについて		○			
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	○	○	○	2
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
HR指導、学年集会、行事							
(行事・特別指導)、修了式、							
(春季休業中)							
履修上の注意						予定時数計	39
特記事項等							

予定時数計

39

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
農業		農業と環境 (3 単位)		1年A組				
教科担当者: (A組: 峰岸照明、佐藤凛、牧戸咲子、大福順子)								
使用教科書: 実教出版「農業と環境」				使用教材等:		日本農業技術検定過去問題3級		
学習目標 農業と環境の関係について学ぶ。 栽培や飼育や環境調査を体験的に学習し、農業や環境で起こっている問題の克服に取り組む。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
農業と環境について体系的・系統的に理解する。 関連する知識・技術を身に付けるようにする。		農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的にかいけつする力を養う。		農業と環境について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					9	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)	オリエンテーション					
		オリエンテーション、ダイズ播種	夏野菜の土づくり、播種について指導する。	○	○	○		
		トウモロコシ定植		○	○	○		
	5月	播種、定植について			○	○	○	12
		オンライン学習デー(行事)、大型連休 トウモロコシとダイズ管理	夏野菜の管理(間引き、土寄せ、除草、追肥)について、具体例や動画を使い指導する。(中間考査 5/14-19)	○	○	○		
		中間考査		○	○	○		
		トウモロコシとダイズ管理		○	○	○		
	6月	トウモロコシとダイズ管理		○	○	○	12	
		除草、追肥、土寄せについて	夏野菜やブルーベリーについて、具体例や実物を使いながら指導する。	○	○	○		
		ブルーベリー管理		○	○	○		
		ブルーベリーについて説明		○	○	○		
	7月	トウモロコシ、ダイズ収穫、片付け			○	○	○	9
		期末考査			○	○	○	
		答案返却						
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)					
2 学 期	9月	(夏季休業中)					12	
		(夏期休業中)						
		ブルーベリー植え替え、管理	冬野菜の播種、管理(間引き、土寄せ、除草、追肥)について、具体例や動画を使い指導する。	○	○	○		
		ハクサイ、ダイコン、カブ等播種		○	○	○		
	10月	ハクサイ、ダイコン、カブ等間引き他管理		○	○	○	12	
		ハクサイ、ダイコン、カブ等除草、追肥、土寄せ		○	○	○		
		ハクサイ、ダイコン、カブ等除草、追肥、土寄せ		○	○	○		
		ハクサイ、ダイコン、カブ等除草、追肥、収穫	冬野菜の管理(収穫等)について、具体例や動画を使い指導する。(中間考査 10/14-17)	○	○	○		
	11月	中間考査					12	
		(スポーツフェスティバル)						
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
		ハクサイ、ダイコン、カブ等収穫、片付け	冬野菜の管理(収穫等)について、具体例や動画を使い指導する(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○	○		
	12月	ハクサイ、ダイコン、カブ等収穫、片付け		○	○	○	9	
		ハクサイ、ダイコン、カブ等収穫、片付け		○	○	○		
		ハクサイ、ダイコン、カブ等収穫、片付け		○	○	○		
		ハクサイ、ダイコン、カブ等について説明		○	○	○		
3 学 期	1月	期末考査	(期末考査 12/8-12)				12	
		答案返却、行事						
		H R 指導、学校行事、終業式						
		(冬季休業中)						
	2月	(春季休業中)					12	
		ダイコンの漬け物づくり	ダイコンの漬け物をつくる実習について、具体例や動画を使い指導をする。/堆肥づくりについて動画を使い指導する。	○	○	○		
		漬け物などの計量、袋詰め (自宅学習)		○	○	○		
		堆肥作り		○	○	○		
	3月	実験器具の説明		○	○	○	12	
		小麦粉の抽出実験	(自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○		
		小麦粉の抽出実験について		○	○	○		
		卒業式準備		○		○		
	3月	学年末考査		○	○	○	6	
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		H R 指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)					
		(行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)						
履修上の注意						予定時数計		
特記事項等						117		